



干潟のお掃除屋さん「アサリ」



アサリの浄化能力を目の当たりに！

食卓でもおなじみのアサリの自然界での役割を、実験で観察することができます。干潟観察や潮干狩りなどのプログラムと一緒に行うとより楽しめます。

対象 小学生～大人
場所 干潟
時間 1時間 ※春～秋

プログラムの前に...

1. 用意するもの

- ①アサリ(20匹以上)
潮干狩りなどで入手
- ②プラケースか水槽
同じ大きさのものを2つ
- ③ 暗幕か段ボール
②のケースを覆えるもの
- ④バケツ
- ⑤移植ごて



2. 事前の準備

アサリを手に入れよう

- ・アサリはスーパーなどでも売っていますが、干潟観察や潮干狩りなどで参加者と一緒に入手するとより楽しめます。



浄化する海水を用意

- ・干潟表面が緑色になった砂を探し、海水を汲んだバケツに入れましょう。
- ・バケツの中で砂を洗うようにかき混ぜると、表面の植物プランクトンが海水に混ざり、適度に濁った海水ができるので、それを使いましょう。



表面が緑色の砂

2. 日クルムの本番!

1. 水槽を用意しよう(約10分)

日陰の涼しい場所に水槽を二つ並べ、準備した濁った海水を入れます。この時、濁っているものが何なのか、どのように準備したのかを話すとより理解できるでしょう。



セッティング
から30分後...

2. アサリの浄化実験(約40分)

用意した水槽の片方にアサリを入れ、もう片方には何も入れないでください。参加者には両水槽の色が同じことを確認してもらったら、水槽を暗幕や段ボールで覆い隠して30分待ちます。

時間が経ったら、早速様子を確認しましょう。先に海水だけの水槽を見て濁った海水を確認し、その後アサリの水槽を観察します。短時間で水が透明になり、キレイになっているのが分かります。次にアサリの体を見てみましょう。貝から筒状の管が飛び出し、そこから海水を吸ってろ過していることが分かります。



3. フリかえり(約10分)

今回使ったアサリはわずか20匹ほどですが、干潟全体には何千何万という数のアサリが棲んでいます。干潟全体でどれだけの水がキレイになっているのかを想像してもらい、彼らの自然界での役割について気付いてもらいましょう。



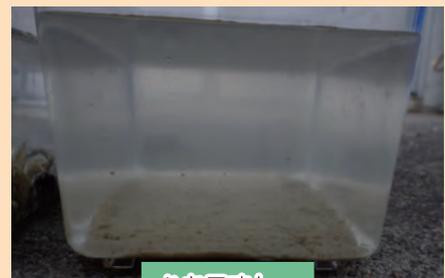
ココがポイント

なぜ暗幕で隠すのか

水槽を隠すことで、変化を劇的に見せる効果もありますが、実は暗くすることでアサリの活動が活発になります。もし、徐々に変化していく様子を見せたかったら薄暗い環境を用意してあげましょう。

あれ? アサリがいなくてもキレイ?

アサリを入れていない水槽も時間が経つと、水が透き通ってキレイに見えることがあります。これは濁りの元のプランクトンが沈殿しているだけで、水をかき混ぜると再び濁り、浄化されたわけではないことがわかります。



かき回すと...
濁ってしまう

